このまちの、この地域の、この国の、未来の声に応えるために！
BLUE - SKY REPORT - - - NAOYA WADA

Vol.52
OCT & NOV 2018 - 秋号 2
きちんと市政＆議会報告《052号》

『ヒト』『情報』が集まるMICE創造の都市へ！

今夏、受け入れをした議員インターンシップの大学生の市政調査により中心市街地活性化基本計画枠内155㌶を隅から隅まで歩き尽くし、空き家、空き地、空き店舗、月極駐車場、コインパーキングの箇所図を作成しました。結果、空き家は約100軒、空き店舗は約500軒、月極駐車場は約4千500台分、コインパーキングは約5千500台分と判明、駐車場については附置義務条例により設置されている駐車場は除外していますが、少なくとも**駐車場を生業とする台数でざっと1万台分存在**することがわかりました。柳ケ瀬を核として、いま遊休不動産リノベーションが進められていますが、こうした取り組みも物件の耐用年数からしてあと10年、20年が限界なことから、中長期的には再開発に向けた知恵を絞らなくてはなりません。都心居住を軸に進められる同計画ですが、これだけ多くの遊休地や駐車場を生業とする土地利用実態を俯瞰したとき、これを都市問題と捉えたときの解決策の根本は、岐阜駅周辺、柳ケ瀬周辺、メディアコスモス周辺と大きく3つの核がある岐阜市中心市街地の**「ホットスポット＊まちの熱源」を新たにどう創るかが問われている**と考えます。私は、その一つの策に航空宇宙産業をはじめ**隣接市町との連携によるMICE誘致が鍵を握っている**のではと考えています。MICEとは、会議や研修旅行、国際会議、展示会の英語の頭文字をとった新たな観光領域のことで、栃木県の県都・宇都宮市が実際に検討を進めています。先日、各務原商工会議所青年部（裏面へ）